

## 基本計画案【第2章分野別計画 各分野の方向性】

### (1)こども未来

7 分野のうち、未来を担う子どもたちが健やかに成長でき、また、安心して子育てができる環境の充実等により、基本構想に掲げる将来都市像や基本的な目標（重点目標）の達成を目指します。

将来都市像の具体的な考え方・視点の「地域への愛着が湧き、成人後も長く住み続ける」・「ベッドタウンという特性に磨きをかけ、多くの人暮らしやすい」・「将来にわたって持続可能なまち」を実現するためには、子どもから高齢者まで多くの人が集まり、住むことで、各年代によるバランスのよい人口構成が形成・維持されることが求められます。特に、少子高齢化が進んでいる中では、人口が再生産され、年齢構成の適切なバランスを達成・維持することは難しくなっていることから、主に自然増が期待できる年代（子ども及び子育て世代）の維持・定着を図りつつ、この年代による自然増を促していくことが重要となっています。

そのためには、子ども及び子育て世代に評価される環境づくりとして、3 つ掲げている基本的な目標（重点目標）の中でも、特に「充実した教育が実感」でき、「安心して産み育てられるまち」の実現に向け、学ぶ意欲と学ぶ習慣が身につく教育や環境の整備や、子どもの育ちと子育てを支える環境づくりを重視した取組に注力します。

#### ①全ての子どもが「時代が求める確かな学力」を身につけるようにする

現在の子どもたちが大人となる 21 世紀中盤の近未来社会へ向けての「学力」を育む時、「学力」を「学んだ結果」として捉えるのではなく、「学ぶ力」と捉えることが 21 世紀を生き抜く為の「学力」の実態に即していると考えます。この学ぶ力の根底となるものが、「学ぶ意欲と学ぶ習慣」であると捉え、柏市では、全ての子どもたちに「学ぶ意欲と学ぶ習慣」を身に着けることに注力します。その上で、意欲と習慣に支えられた「時代が求める確かな学力」を身につけられるよう、魅力的な学校づくりと教育環境の整備を進めます。

具体的には、学ぶ意欲と学ぶ習慣を育む教育内容や授業の充実を図り、それを支える人員・施設等の教育体制（人員・施設等）の整備・拡充（能力向上）に重点的に取り組みます。同時に、各学校が地域や保護者から信頼され、特色ある学校づくりを推進し自律した学校経営を行うため、地域と連携した教育活動を推進できるよう支援の充実を図ります。

#### ②地域全体で子どもの育ちや子育てを支える環境をつくる

少子高齢化が進み、ライフスタイルの変化等により核家族化や地域のつながりの希薄化が進んでいる現状にあっては、親同士の支え合い・学び合いと子ども同士の遊びが生まれる環境づくりを進め、また、親以外の周りの人たちの参画を得るなど、地域ぐるみで子どもを育て、子育てを支える環境づくりに重点的に取り組みます。

また、出産・子育てを希望する市民が、出産・子育てや子どもの成長に対する不安が解消され、前向きな気持ちで妊娠・出産・子育てにのぞめるよう、各種の情報提供や相談対応、安心につながる環境づくりなど、切れ目ない子育て支援に係る各種取組の充実に努めていきます。

## 基本計画案【第2章分野別計画 各分野の方向性】

### (2)健康・サポート

7分野のうち、市民一人ひとりの健康や、高齢者や障害者等、支えが必要な方への支援等により、基本構想に掲げる将来都市像や基本的な目標（重点目標）の達成を目指します。

本市で見込まれる高齢化の急速な進行は、将来的な社会保障費の増大を招き、持続可能なまちの実現に大きな影響を及ぼすだけでなく、高齢者のみの世帯や介護が必要な高齢者等、支援が必要な市民の増加をもたらします。

市では、①生涯にわたって健康を維持でき、②高齢者や障害者が支援を受けるだけでなく、地域の担い手としても活躍できるまちに取り組み、重点目標「健康寿命を延ばし、いつまでもいきいきと暮らせるまち」の達成に努めます。

#### ①市民の健康を保持・増進する

年齢や体力、生活習慣に合わせて適切に対応することにより、自立できる身体能力を維持することができます。

そのためには、市民一人ひとりが健康に対する理解を深め、健康維持に向けた行動ができる環境づくりに取り組みます。

また、病気や障害に対しては、重症化させず早期の回復や機能維持を図ることができるよう、求められる医療需要に適時適切に対応できる体制の整備を推進します。

#### ②高齢者のニーズに応じて支援する

心身とも元気で活発な高齢者やその人らしくいきいきと生活している障害者も多いことから、「支えが必要な人」と一律に捉えるのではなく、地域や社会の「担い手」として活躍いただく環境づくりに取り組みます。

一方で、加齢による身体機能の低下は避けられないことから、支えが必要な高齢者や障害者に対しては、いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、医療・介護の多職種連携や地域で支え合う仕組みの構築に取り組みます。

## 基本計画案【第2章分野別計画 各分野の方向性】

### (3)経済・活力

7分野のうち、地域の魅力を高め、多くの人が集まりにぎわい、活力ある地域をつくることにより、基本構想に掲げる将来都市像や基本的な目標（重点目標）の達成を目指します。

将来都市像に掲げる「持続可能なまち」となるためには、今後、経済の低成長が見込まれる中で、工夫をしながら足腰の強い経済基盤（税収確保）とまちの活力を維持し、人を呼び込む必要があります。

3つ掲げている基本的な目標（重点目標）の中でも、特に「地域の魅力や特性を活かし、人が集う活力あふれるまち」の実現に向け、人を呼び込み、賑わいのあるまちの整備や、魅力ある産業の活躍を促進します。

#### ①人を呼び込み、賑わいのあるまちをつくる

これまでのような、本市の顔である柏駅周辺の中心市街地だけに依存した集客構造は、吸引力の低下等から困難となってきています。そのため、市内の北部・中部・南部を核とした多様な魅力を最大限に活用し、多様なニーズに応えることで人を呼び込み、交流人口の創出による経済やまちの活力の維持・発展を目指します。

吸引力が低下してきている中心市街地は、重点目標に資する、多世代が快適に歩いて過ごせる特徴ある通りを中心とした都市空間づくりを進めます。また、市の中心となる都市拠点に求められる公共交通結節点の機能充実や、まちなかのオープンスペースを創出するなど、長期的な視点に立った基盤整備や活性化の取組を進めます。

公・民・学連携による先導的（先進的）なまちづくりが進められている北部地域では、地域の魅力を発信して、高質な住宅地に加え企業や研究機関等の立地を促し、求心力と創造的な交流にあふれ、職住が一体となった自立した新しい都市モデルとして、まちの活力のけん引役を目指します。

また、自然あふれる地域資源があり、農とのつながりも深い東部地域では、手賀沼の活用による交流人口の創出に取り組みます。

#### ②魅力ある産業が活躍するまちをつくる

事業を興し展開する場や、働く場としての魅力も高め、事業所や働く人の本市への集積を目指すことも非常に重要です。インパクトのある雇用の受け皿を創出あるいは拡充するため、魅力的な産業・事業所等の育成を進めます。中でも、税収や市民の雇用等様々なメリットをもたらす付加価値の高い企業への戦略的な誘致に注力します。また、新製品による経済効果を期待し、ユニークで先進的な市内の企業、農業、教育・研究機関の連携も進めます。

農業は、大都市近郊という立地的な特徴の他、景観や環境面からも重要であり、持続可能性の確保を促進していきます。

## 基本計画案【第2章分野別計画 各分野の方向性】

### (4)地域のちから

7分野のうち、地域の財産である人やコミュニティ、文化・スポーツなど、地域に対する愛や誇りを育むことにより、基本構想に掲げる将来都市像や基本的な目標（重点目標）の達成を目指します。

市民が主体的・積極的に活動でき、本市の魅力を再認識する等により、自分の住む地域に関心を持ち、地域に対する誇りを持てることも、多くの人が本市に集まり・住まう大きな要素になると考えます。

そのためには、まずはコミュニティの活性化、そして文化・スポーツ等様々な市民活動を重視した取組を進めます。

#### ①コミュニティを再構築、活性化する

増大・多様化する地域課題に対応するためには、行政だけではなく、地域で生活する市民が自ら主体的に地域の身近な課題解決に取り組むことが必要であり、将来都市像にある持続可能なまちの形成には地域力の強化が不可欠です。

市内の地域組織(町会・自治会・区等及びふるさと協議会など)における会員加入率の減少や担い手の不足等の課題に対し、地域で何かをしたいと考える人材の発掘・育成等、地域活動の活性化に注力します。

#### ②文化・スポーツ等様々な市民活動をもり立てる

様々な地域課題の解決には、①で掲げた地域の担い手の発掘・育成等と併せて、市民が必要な情報を収集できたり、知識を習得できたりする必要があることから、生涯学習の推進や図書館を活用した情報収集・知識習得の支援を進めます。

多様な文化・芸術活動に取り組む市民がいるものの、市内外の人にとって本市の文化的イメージは低いことから、まちへの愛着・定着を高めるため、文化的イメージの向上が必要となっています。様々な文化・芸術活動の中でも、本市の強みである吹奏楽を活かしたまちづくりを進め、イメージ向上を図ります。

市内にはJリーグの「柏レイソル」をはじめバスケットボールや陸上等のスポーツチームが多数ある他、全国レベルのスポーツ大会で活躍する高校もある等、これらの豊富なスポーツ資源を活かし、まちへの愛着・定着を促進することも重要です。スポーツを「する」「見る」「ささえる」の中でも、将来の重点課題であり目標でもある「健康寿命」を意識し、またスポーツの実施率が低いことも踏まえ、「する」に着目し、地域での健康・体力づくりを進めます。

## 基本計画案【第2章分野別計画 各分野の方向性】

### (5)環境・社会基盤

7分野のうち、自然環境や都市空間、道路・交通といった生活基盤などを、魅力的で質の高いものとするにより、基本構想に掲げる将来都市像や基本的な目標（重点目標）の達成を目指します。

将来都市像に掲げる、心うるおす自然を活かした先進住環境都市の実現に向け、市内外からの評価が高まり、持続可能なまちとして未来にもつながる取組が求められることから、「未来の子どもに引き継ぐ住環境づくり」や「良好な住環境の基となる社会基盤の形成・維持」を重視した取組に注力します。

また、全国的な課題となっている空き家等の適正管理については、現況の把握・分析を行い、必要な措置を図りながら利活用について調査・研究を進めます。

#### ①未来の子どもに引き継ぐ住環境をつくる

本市は、大都市圏にありながら緑が多く、手賀沼など水辺環境にも囲まれていることが特徴であり、強み・魅力でもあることから、これら豊かな自然環境を未来にわたって守っていくことが必要です。

また、昨今のゲリラ豪雨や猛暑の原因は地球温暖化にあるとされており、省エネルギーなど環境を意識したライフスタイルの確立や都市基盤整備と一体となった再生エネルギーの創出など、様々な環境配慮型の都市基盤整備を通じて持続可能な社会を目指し、これらを踏まえて良好な住環境を形成することで、まちの魅力を高めます。

#### ②良好な住環境の基となる社会基盤を形成・維持する

基本的な目標（重点目標）の実現には、安全・安心で元気に遊べる空間や、コミュニティの幅広い世代が集う場を充実させることで、都市としての魅力を高めることが求められます。

また、これら集う場へのアクセスをはじめとした、子育て中の親子や高齢者にとっての移動しやすさを確保し、都市の利便性・快適性を高めます。具体的には、バリアフリーな住環境づくりや、公共交通の利便性向上をはじめとする安全・円滑な交通環境づくりに取り組みます。

## 基本計画案【第2章分野別計画 各分野の方向性】

### (6)安全・安心

7分野のうち、市民の命をまもる防犯・防災、消費者保護等により、基本構想に掲げる将来都市像や基本的な目標（重点目標）の達成を目指します。

将来都市像に掲げる「先進住環境都市」となるには、災害や犯罪のない安全・安心なまちであることが求められます。特に、子ども及び子育ての環境整備や、将来の急速な高齢化などに対応するために、子育て世代の親子や高齢者が安全・安心に暮らせることを重視します。

#### ①災害時などに命を守ることができる安全が確保されたまちをつくる

子育て世代の親子や高齢者が、災害時にも安全が確保されるよう、防災力の高いまちをつくり、他都市と比べた魅力・付加価値を高めます。

具体的には、子育て世代の親子や高齢者等、災害時に特段の配慮が必要な市民への対応や、老朽化した防災設備の着実な改善・準備に重点的に取り組みます。

#### ②犯罪などを未然に防ぐ安心があるまちをつくる

子育て世代の親子や高齢者にとって、犯罪の少ない、防犯力の高いまちをつくり、他都市と比べた魅力・付加価値を高めます。特に、犯罪等の中でも、子育て世代の親子や高齢者が特に被害に遭いやすい犯罪の防止に特に注力します。

具体的には、犯罪が起こりにくい地域づくりや、犯罪を起こさせない組織づくりに重点的に取り組みます。

## 基本計画案【第2章分野別計画 各分野の方向性】

### (7) マネジメント

各分野を進めるために重要となる行財政面の強化・改善や公共施設の最適化等により、基本構想に掲げる将来都市像や基本的な目標（重点目標）の達成を目指します。

将来都市像の実現には、各分野の施策等の着実な実施が必要となりますが、厳しい財政見通しの中でそれらの実施を可能とするため、持続可能な行政経営体制を確立し、それらを確実に運用することが必要です。

#### ① 持続可能な行政経営を確立・運用する

将来都市像や重点目標の達成の裏付けとして、厳しい財政見通しの中で、必要な財源が継続的に確保できる仕組みづくりに注力します。

具体的には、マネジメントサイクルの活用、歳入確保の強化、歳出抑制の推進に重点的に取り組みます。

#### ② 公共施設等の最適化を図る

人口急増期に多数整備した公共施設等については、財政負担の抑制及び平準化の観点から適切かつ計画的に対応します。その際、単なる維持や更新ではなく、今後の人口動態や社会情勢の変化等から、必要な施設等の種類・規模・立地等が大きく変わることを考慮し、統廃合や再配置だけでなく、出張所の統廃合も視野に入れた支所の設置など、公共サービスのあり方も含めた最適化を重視して進めます。